

## 第6学年 総合的な学習の時間学習指導案

活動場所 6年桜組教室

授業者 三木 裕代

児童数 29名

1 探究課題 地域社会で働く人々の実情と課題、及び自己の生き方

2 単元名 生かそう！池田の魅力

### 3 単元の目標

地域社会が抱える課題の解決を目指し、池田町の特産品や地域の活性化に携わる人々の取組について調べて、池田町の魅力を生かした商品を開発する活動を通して、商品を販売するまでの取組や人々の思いに気付き、池田町魅力を伝えられるような商品を考えてとともに、地域の一員として進んで行動しようとするができるようにする。

### 4 単元について

本学級の児童は、与えられた課題には一生懸命に取り組むが、自分たちで課題を見つけ解決していく力は弱い。調べ学習もインターネットを使って意欲的に取り組むが、何のために調べればよいのかという目的意識が薄れがちになり、そこから課題を見つけ探究していくまでには至っていない。

そこで、児童が他の教科で学んだことを総合的な学習の時間で生かすことができる仕組みを取り入れていく。社会科「わたしたちの暮らしを支える政治」で学んだSDGsの食品ロスに関連させることで、歳入・歳出を意識した予算案の作成から商品開発に必要な材料の買い出し・試作を自分たちで考えさせたい。算数科「資料の調べ方」で学んだデータの分析やグラフの作成の仕方をもとに、試作品のアンケート作りや整理・分析を行いたい。また、単元を通してNHK for schoolの「プロのプロセス」を継続して視聴することで、商品化を実現するまでの課題を児童が見つけられるようにしたい。

本単元では、池田町は酒造りで栄えていたことから酒粕を生かした商品開発を行う。酒粕は5年生で学習・体験した米作りからつなげることができ、大量に廃棄される食品ロスの問題を身近に感じることができる教材である。「商品化」という中核となる活動を仕組みすることで、児童が相手を意識しながら、主体的に学習活動を進めることができる。商品の考案及び宣伝をする過程では、食材の魅力や宣伝の仕方などについて情報収集を行う。酒粕の魅力を生かした商品を作り、効果的に宣伝することを目的として話し合いを重ねることで、多面的に考える力を身に付けさせたい。また、販売に協力してくれる店と関わることを通して、試行錯誤しながら諦めずに取り組むことの重要性、協力しながら1つの目標に向かって取り組むことで得られる充実感などを感じ取ってほしいと考える。

### 5 単元の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	① 地域に住む人々が、それぞれの思いをもって働いており、相互に関わり合うことで地域社会が成り立っていることを理解している。 ② 目的に応じたアンケートを実施している。 ③ 地域社会の一員として、池田町のために貢献できたことは探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。	① 酒粕を利用した商品開発に向け、さまざまな課題を発見し、解決するための見通しをもっている。 ② 課題解決のための情報収集の手段を選択し、多様な方法で収集している。 ③ 課題の解決に必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関係付けたりしながら解決に向けて考えている。 ④ 相手(消費者や製造者)を意識して表現している。	① 課題解決に向け、自分のよさや活躍できる分野に気付き、探究活動に進んで取り組もうとしている。 ② 自分と異なる意見や考えがあることに気付き、多様な意見や他者の立場を尊重しながら協働して学び合おうとしている。 ③ 働くことや社会に貢献することの素晴らしさに気付き、自己の生き方や将来の夢を見つけようとしている。

6 指導と評価の計画(70 時間)

小単元名	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
1 知ろう！池田町の魅力 (10 時間)	・池田町のよさや課題について考え，5年生で体験した米作りと池田町の酒造りにつながりがあることに気付く。 (3 時間)	①	②		・行動観察 ・振り返り
	・池田町内の酒造を見学し，酒造りについて学ぶとともに，酒粕が大量に廃棄されていることを学ぶ。酒粕を使ったキャンディーを商品化していることを学ぶ。 (2 時間)	①			・振り返り
	・セラピストから酒粕を使った石鹸作りや洋菓子店から酒粕を使ったお菓子作りを学ぶ。 (3 時間)	①			・行動観察
	・体験活動や地域で働く人々の話から分かった池田町の現状を整理し，明らかにする。 (2 時間)	①			・振り返り
2 開発しよう！酒粕を生かしたオリジナル商品 (35 時間)	・プロジェクトチームを作り，自分たちでも酒粕を生かした商品開発ができないかを考え，試す。 (8 時間)		①	②	・行動観察 ・振り返り
	・学級内で試食し合い，感想をもとに改善策を考える。実際に商品として開発するためには，専門の方に協力してもらう必要があることに気付く。 (3 時間)		①		・振り返り
	・試作品を作る。 (4 時間)			②	・行動観察
	・校内で試食してもらい，その感想や助言の結果を基に改善する。 (3 時間)	②	③	①	・行動観察 ・振り返り
	・試作，改善を繰り返す。 (10 時間)		③		・行動観察 ・振り返り
	・町内で酒粕についての市場調査を行う。(2 時間)		②		・行動観察
	・販売商品を決定するためのコンペに向けてプレゼンテーションを作る。 (3 時間)		④		・行動観察 ・制作物 ・振り返り
	・商品販売に協力してくれるプロの方にプレゼンテーションする。 (2 時間)		④	①	・振り返り ・行動観察
3 考えよう！これからの池田町の魅力 (25 時間)	・校内でオリジナル商品を販売し，アンケート調査を行う。 (4 時間)	②	④		・振り返り
	・より多くの人に自分たちの商品を知ってもらうためには，どうすればよいかを考える。 (本時 1/6 時間)		④	②	・行動観察 ・振り返り
	・校外で商品を販売する。 (3 時間)		④		・行動観察
	・活動を振り返るとともに，地域と自分たちの関わりや自分のよさについて考える。 (12 時間)	③		③	・振り返り ・制作物

## 7 本時

(1) 目標 オリジナル商品販売会に向けて、相手意識をもった企画をすることができる。

### (2) 展開

学習活動	指導上の留意点	評価規準及び評価方法
1 本時のめあてを確認する。	○市場調査やアンケート結果を基に、学習の見通しをもつことができるようにする。	
2 次回の販売会に向けて、どのように企画するのかを話し合う。 ・販売場所 ・宣伝方法	○酒粕の魅力をより多くの人に知ってもらうためには販売場所を変える必要がある等、新たな課題に気付かせる。	相手(消費者)を意識して表現している。(思④：行動観察)  自分と異なる意見や考えがあることに気付き、多様な意見や他者の立場を尊重しようとしている。 (態②：行動観察・振り返り)
3 話し合ったことを全体で共有する。	○自分たちのグループとの共通点や差異点を探しながら他のグループの考えを聞くことを意識させる。	
4 本時の振り返りをする。	○次時の活動に生かせるように、振り返りの視点を絞り活動できたかどうかを振り返らせる。	